

日本の宝、浄化槽の維持管理ノウハウを ミャンマーへ伝える

大五産業 株式会社



ミャンマー国適正技術としての浄化槽を用いた水環境改善事業

JICA・中小企業海外展開支援事業案件化調査／普及・実証事業（平成26年度～平成29年度）

実施体制

大五産業株式会社
守山環整株式会社
栗東総合産業株式会社／
株式会社奥村興業／株式会社近江美研／
日映興業株式会社／草津市／
株式会社ジオブレイン／
株式会社建設技研インターナショナル

プロジェクトの概要

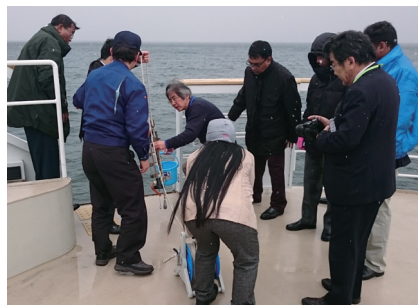
ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市の水環境改善を図るため、ヤンゴン市開発委員会(YCDC)を対象に、浄化槽の適切な設置方法および清掃・保守点検維持管理技術を移転し、浄化槽管理システムの確立を目指す実証事業を実施しました。事業では、①公園への浄化槽の設置、②YCDC職員への浄化槽の適切な清掃・保守点検・維持管理技術の研修、③浄化槽の容量算定・設置・維持管理に係るガイドライン策定、④市民啓蒙用教材作成等を実施しました。



設置した浄化槽の維持管理・水質測定の指導教育



浄化槽維持管理トレーニングの様子



本邦研修(琵琶湖での採水の様子)

プロジェクト後も支援を継続。浄化槽の普及を見据えて先行投資

現地のニーズ・課題

急激な都市化に伴い、生活排水等による水環境の悪化が懸念されているミャンマー国ヤンゴン市では、ホテルや企業などに浄化槽が徐々に導入されつつありますが、浄化槽に対する理解が乏しく、適切な維持管理がされていないため機能が十分に発揮されていません。浄化槽は、設置後も槽内の水温・溶存酸素量などその維持管理や保守点検が欠かせませんが、維持管理業務のみでは大きな売上に繋がらないため、どの事業者も海外事業としての採算が見込めないとの思いから、維持管理業務については展開していません。そのため、現地の維持管理技術は未熟であり、その技術者も不足しています。

プロジェクトの実施の成果

実証事業では浄化槽の維持管理に関するガイドラインを作成しました。今後は、YCDCが主体となりガイドラインを適切に運用していく必要があるため、事業終了後も引き続きYCDCを支援しています。例えば、ガイドラインの運用根拠となる排水基準・浄化槽設置・維持管理に関する条例の策定を支援し、当社の社員をYCDCに派遣して、これらの条例やガイドラインの運用に関する指導をしています。また、民間レベルでの浄化槽管理士資格制度を構築したり、現地の人材育成に繋げるために日本語学校を設立するなどしました。将来的な事業性を見極めつつ、いつかは花開くと信じ、まずは赤字覚悟で投資しています。

日本の技術をミャンマーに継承。現地での末永い事業を目指す

やって良かったこと

滋賀県内の多くの浄化槽の設置・管理事業者は、有能な技術者を育成し、ノウハウを蓄積してきました。しかし、下水道の普及が進むにつれ、技術者の活躍する場がなくなり、このままでは浄化槽の維持管理技術が失われてしまうと危惧していました。日本の宝である浄化槽でミャンマーの水環境を改善し、その維持管理技術を海外において指導・伝えていくことは、国際貢献だけではなく、社員のモチベーション向上にも繋がり、何よりも得難いものでした。

ミャンマーでのビジネス展望

小型浄化槽の現地製造及び、販売・設置を目的として、現地の浄化槽販売代理店と合併会社を設立しました。また、タイの浄化槽大手製造事業者とタイで合併会社を設立し、大型浄化槽のミャンマーへの販売や日本への逆輸入を検討しています。維持管理事業は現地法人を設立し、YCDCから業務を請け負う予定です。これらはYCDCや現地と強力な関係性を構築できたからこそ実現できました。また、日本では出会えない業種の方と現地では交流でき、どんなに小さなことでもビジネスチャンスに変えていくことはできると考えており、将来は、排水処理全般の事業者としてミャンマーでビジネスをしていきたいです。